

四期のボタニカルアート

ニチニチソウ（キョウチクトウ科）

マダガスカル島原産で観賞用として広く栽培される、草丈30～60cmの1年生草本です。葉には短い葉柄があり、長楕円形で表面に光沢があり対生です。葉の付け根（葉腋）から花茎を伸ばし赤、白、ピンク等の可憐な花を開きます。花は5弁でキョウチクトウ科植物の特徴である花弁が巴状にねじれています。

ニチニチソウは多種のアルカロイドを含んでおり、その中でビンクリスチン、ビンブラスチンは抗がん作用が強いことから現在最も重要な抗がん剤の一つとして臨床の場で多用されています。

本画はイギリスのキュウガーデンから出版され現在に至っている、「カーチスのボタニカルマガジン」に収載されたもので、1760年代の作品です。エッチングで輪郭を印刷し、手彩色された、ものです。



N. 248